



議会だより



(新ポンプ車納車)

●令和7年第3回定例会

もくじ

審議された議案と結果	P 2
一般質問	P 3
定例会議案の審議要旨	P 6
議会の動き	P 8
編集後記	P 8

第196号

令和7年11月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会

令和7年第3回定例会（9月24日）

＜行政報告＞

令和7年度総合防災訓練について
ゲームソフト「ゴースト・オブ・ヨウテイ」を活かした観光施策の進捗状況について
クレードル興農株式会社の本社移転について
令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

＜一般質問＞

喜茂別町立クリニック指定管理更新について	阿部議員	3ページ
本町の考えるクマ対策について	越後議員	4ページ
宿泊税の導入について	山下議員	5ページ

＜報告＞

令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率について	財政健全化法に基づく財政健全化計画策定の必要なしと報告	報告済み	
令和6年度喜茂別町下水道事業会計継続費精算報告について	きもべつ浄化センター電気計装設備等更新事業を終了した旨報告	報告済み	
令和6年度教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について	教育委員会の活動状況に関する事項、教育施策の執行等に関する事項、社会教育の振興について報告	報告済み	質問あり 6・7ページ

＜令和6年度決算認定＞

一般会計・国民健康保険特別会計・介護サービス事業特別会計 後期高齢者医療特別会計・簡易水道事業会計・下水道事業会計	決算特別委員会で審査することに決定
--	-------------------

＜人事＞

固定資産評価審査委員会の委員の選任	三野 優 氏（任期：R7.10.1～R10.9.30）	原案同意	
-------------------	-----------------------------	------	--

＜条例改正＞

喜茂別町職員の育児休業等に関する条例	地方公務員の部分休業制度等の改正	原案可決	
職員の勤務時間、休暇等に関する条例	出生時両立支援制度等の周知等を行う旨規定	原案可決	

＜規約変更＞

北海道市町村総合事務組規約	江差町・上ノ国町学校給食組合が解散し各組合から脱退することに伴う規約の変更	原案可決	
北海道市町村職員退職手当組規約		原案可決	
北海道町村議会議員公務災害補償等組規約		原案可決	

＜令和7年度補正予算＞

一般会計（第3回）	物価等高騰対策事業費、比羅岡地区小規模治山事業費など5125万円の増額	原案可決	質問あり 7ページ
国民健康保険特別会計（第1回）	システム改修業務により445万5000円の増額	原案可決	
後期高齢者医療特別会計（第1回）	システム改修業務により227万7000円の増額	原案可決	

＜関係行政庁等への意見書＞

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書	請願者 提出者 提出先	北海道医療介護福祉連合会 山下純 賛成者 越後宏明 本久哲士 内閣総理大臣、厚生労働大臣等	原案可決	
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書	請願者 提出者 提出先	北海道道路整備促進協会等 山下純 賛成者 越後弘明 岩部剛 国土交通大臣・国土強靱化担当大臣等	原案可決	

一般質問 要旨

※一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に質問し、適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

町立クリニックの指定管理延長は

町長 協議をすすめている



あべしろうじ
阿部昭司 議員

阿部議員

①町立クリニック指定管理更新について

令和8年3月には指定管理の期限がきれるが、本町におけるクリニックの位置づけは町民にとって大切な場所と考える。

更新も含めて、中長期的に持続可能な医療体制を構築する必要があると思われるが、今現在どの様な話し合いで進められているのか。

②町民の健康管理を維持するための政策的支援の必要性について

社会情勢の変化により、昨年6月には厚生労働省による保険医療点数の削減があった。

当然地域病院にも影響があり、医療状況を精査し実行しても経営が厳しい状況であると聞いている。

今後については町民の健康管理を維持するためにも、政策支援体制が必要ではないかと思うが町長の考えを伺う。

林町長

①町立クリニック指定管理更新について

現在、期間の延長に向けた協議を進めている中で、事業継続における懸念点として、現状は医療法人が東京都と喜茂別町の2拠点で事業を展開しており、本町に継続して常駐できる医師や看護師等のスタッフの確保、赤字補填のための町の支援体制が課題として挙げられている。

収益面についても、医療法人としては収益向上に向け最大限努力しているものの、現状は頭打ちの状況であると伺っている。

現時点での協議の方向性としては、時代変化に対応した中長期的な運営体制を確保する観点から、医療提供体制の安定と、町立クリニックに求められる地域医療の役割の確認を大きな軸とした議論を進めている。

②町民の健康管理を維持するための政策的支援の必要性について

指定管理料とは別に、町の政策的特色を打ち出す意味でも、例えば感染症等の検査キットなどの資材高騰分を町が補填するなどの予算措置について、実施したいと考えている。

具体的には発熱外来の減収に対応する側面も含め、検査体制の強化や早期発見、早期治療の促進を図る方針である。

また、町民への健康教育や検診の促進、予防接種料の一部助成など、町民の健康水準を総合的に向上させる方策についても、指定管理更新の議論と並行して重ねてまいりたいと考えている。

今後も町民の皆様の健康管理をサポートする医療提供体制の保持に努める。



▲喜茂別町立クリニック

本町のクマ対策は

町長 今後、緊急銃猟体制を構築していく



えちご ひろあき
越後 宏明議員

越後議員

近年、東日本を中心にクマによる人間を襲う被害や、農作物などを食い荒らす食害が、右肩上がりに増加している。

本町にも民間のキャンプ場や、山に近い学校などがあり、いつクマが出没してもおかしくない状況であることは明らかである。

町民の命を守るという観点からも、早急に今すぐできるクマ対策を施すことが必要だと考える。

現在本町が行っているクマ対策、そして、今後どのようにクマ対策を徹底していくのか町長の考えを伺う。



▲箱わなで捕獲されたクマ



▲轟音玉

林町長

有害鳥獣の出没による被害は全国的な課題であり、特にクマ類の人身被害は令和5年度に被害件数219件と過去最多となっている。

本町のヒグマも含めた有害鳥獣対策は、町や猟友会、ようてい農業協同組合喜茂別支所などで構成する、喜茂別町鳥獣被害防止対策協議会を中心に、野生鳥獣による農産物等への被害防止や低減を図るため、その対策にあたっている。

これまで人の日常生活圏に出没していた有害鳥獣の銃による駆除は、原則禁止されていたが、本年4月に法律が改正され、危険性の高いクマ等が出没した場合に、市町村の責任と判断のもと、銃による駆除を可能とする「緊急銃猟制度」が本年9月1日から始まった。

しかし、人身事故にもつながりかねない銃の発砲許可を町として判断するには、専門知識や訓練が必要であり、慎重な判断が求められる。

このため、本町としても猟友会との十分な協議や緊急銃猟実施マニュアルの作成、職員向けの研修や訓練、専門人材の確保等が必要であり、本制度を直ちに実施することは困難である。

現段階において、ヒグマが日常生活圏に出没した場合には、警察や猟友会と連携したパトロールの実施、ホームページ等による情報発信、轟音玉等による追い払い、3基保有する箱わな設置による捕獲、緊急時には警察の判断による銃を使用した駆除を基本に対策をする考えでいる。

しかし、本制度の創設は、新たに選択肢が増えるものであり、今後は、緊急銃猟も含めたヒグマ対策について実効性のある体制を構築していく。

宿泊税の導入を

町長 準備を進めている



やました じゅん
山下 純議員

山下議員

コロナ禍があけてから、インバウンドも復活し、ニセコやルスツに近い本町では、最近空き家が凄いい勢いで民泊に生まれ変わっている。

民泊業者に話を聞いたところ、争奪戦の様相を呈しているとのことである。

空き家が有効に活用され、消費や雇用につながることは、素晴らしいことだと思う。

しかし、ただでさえ、家がないために移住者を受け入れることができない状況に拍車がかかってしまうと、騒音など、近隣とトラブルに発展する可能性もある。

そこで、町民から温かく民泊を受け入れられるためにも、一刻も早く宿泊税を導入すべきだと思う。

財政難の本町としては、千載一遇のチャンスである。

今年3月の総括質疑で同僚議員からも宿泊税導入について質問があったが、その際町長は、「既に簡易宿泊業を行っている商工会や商工会員の意見を聞き、いつ、どのように導入をするのか決定してまいりたい」と、前向きな答弁をしていた。

あれから半年が経ったが、その後、どのような方向で話が進んでいるのか、答弁を伺いたい。

寄付行為の禁止

議会議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いいたします。

林町長

宿泊税は、宿泊事業者に対し、宿泊数と宿泊者数に応じて定率もしくは定額により課税し、納めていただく税金で、観光振興を目的に活用することができる法定外目的税である。

全国でも導入する自治体が増えており、管内では既に倶知安町やニセコ町などで導入されている。

現在、宿泊税の導入に向け、町内宿泊事業者・先行自治体の調査を実施し、宿泊税の使途を始め、定率・定額の選択、条例案などについて庁舎内で検討している。

宿泊税は、宿泊者や宿泊事業者の皆様にご負担を頂く制度でもあることから、今後は、商工会や宿泊事業者からのご意見をいただく事業者説明会や有識者会議を開催し、令和8年3月頃には総務省へ協議書を提出できるよう、準備を進めている。



▲民泊へ改装中の空き家

定例会 9月24日

令和6年度教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について

菊地議員

小中学生を対象とした早寝早起き朝ごはん推進事業の取り組みとして50日間にわたって開催されている健康づくりラジオ体操会がある。

本事業については、NHK夏季巡回ラジオ体操会が昭和45年、平成5年の2回にわたって、旧喜茂別高校グラウンドを会場として開催され、多くの町民が参加する様子が全国に生中継されている。

こうした実績等が評価され、昭和55年に内閣総理大臣、平成27年に文部科学大臣表彰を受けるなど、本町の社会教育における生涯学習の主要な取り組みとして、50年以上の長きにわたって行われた歴史的な事業であると思う。

私も毎年参加をしているが、年々参加者は減少傾向となっており、特に小学生の参加者が少なく、子供たちの夏場における規則正しい生活習慣定着を目指す取り組みとしては残念な状況であると思う。

この関係について、私は以前教育長に質問した経過があるが、その時の答弁において、今後、家庭と学校、教育委員会と連携を取りながら、是非とも小学生の参加率の向上を図りたいと述べられている。

これまでどのような対応してきたのか、また、現在の参加者の減少状況を見て、参加率の向上を図るため、今後どのようなことを考えているのか伺いたい。

細田教育長

校長教頭合同会議の中で、児童参加について学校の方で取り組んでいただく。

また、教育委員会としては、生活リズムチェックシートを夏休み期間児童全員に配布している。

これによって、長期休業中であっても規則正しい生活を過ごしてもらうということで、

その中に朝のラジオ体操の参加も付されているので、何とか小学生の参加について増やしていきたい。

菊地議員

過去の例を見ると、校長先生をはじめ学校の先生が参加する状況の中には、子供たちも多く参加している状況が見受けられる。

こういった観点から是非、学校長をはじめ、本町に住んでいる先生方について、夏休み期間中でもいいから参加をして、ぜひ子供たちと一緒に参加をして盛り上げてもらいたい。

それと、子供たちの分もさることながら、多くの関係団体に呼びかけるなど、一人でも多くの参加者が増えた状況の中で、末永く体操会が続くことが大事ではないかと思う。

細田教育長

子供たちばかりではなくて、高齢者も含めて健康づくりラジオ体操という活動なので、多くの方々にお声がけをして参加者を増やしていく。

また、関係機関にも十分に周知をはかって参加者の拡大に取り組んでまいりたい。

岩部議員

図書祭りについて、「コーヒーや古本の無償提供を行った」とあるが、費用は事業者が負担しているのか。

秋山教育次長

飲み物については実費をいただいている。

岩部議員

昨年の第3回定例議会でも質問しているが、規則を変更して営業活動ができるよう運用した方が良いと考えている。

というのも「学校施設の目的外使用における営利目的利用の可否の明確化」について、令和6年12月24日、「令和6年の地方からの提案等に関する対応方針」が閣議決定された。

それを受けて令和7年3月26日付で文部科学省から教育長宛てに通知があったと思われる。

この中では「学校教育上支障のない限り、

売店や食堂の営業などを含め、営利目的の有無にかかわらず目的外使用が可能です」となっている。

今後規則を変更して、学校施設の目的外使用におけるイベント時の飲食事業者などの営業活動を可能にしても良いと考えるが、どのように考えているか。

細田教育長

現在のところ、営利を目的とした学校の利用についてはあまり積極的に認めていない。

今後においても、営利を目的とした目的外使用について積極的に行っていくという必要性は特に感じていないので、今のところその規則改正を行ってまで、それを盛り込むという考えは持っていない。

令和7年度喜茂別町一般会計補正予算（第3回）について

小川議員

物価等高騰対策事業費で、食品製造販売事業者経営継続支援金100万円とあるが、対象者は何人いるのか。

井原まちづくり振興課長

クレードル興農に対し、企業独自で投資している状況下で、物価高騰の煽りを受けているので、継続支援金として支援するものである。

小川議員

飲食店の方々も物価高の影響で仕入れ高が高くなって値上げ等もせざるを得ない状況にあると思うが、町内の飲食店に対しての支援などは考えてはいないのか。

井原まちづくり振興課長

国の政策に注視し、今後の交付金とか活用してまいりたい。

林町長

既に商工会に対し、毎年行っているプレミアム商品券については3000円プラスということで予算計上しており、700セット用意して、町民の方々だとか飲食店、商店に対して、少

しだが補填できるような体制を整えている。

菊地議員

比羅岡地区の小規模治山事業の関係について、工事請負費250万円に対して、設計900万円になっているが、単年度で終わる事業なのか、複数年にまたがる事業なのか。

齊藤農林課長

令和9年度までの3年間で予定している。

菊地議員

継続費に載ってこないのはどういうことか。

齊藤農林課長

地方債を財源に考えており、本地方債が今年度で時限を迎える予定である。

ただし、今現在、各種団体が地方債について継続を国に要望しているようだが、まだわからない状態である。

今年度にこの事業を着手できると、今後その地方債制度が終わったとしても、その後も財源措置があるというところで、まず今年度予算措置したのが1点。

継続費については一体不可分なものというところで、この7年度の事業については、まず測量と設計が主なものであり、本体工事については、本当に応急措置というところが主なものであるので、まずは7年度の事業として予算計上を提案させていただいた。

山下議員

物価等高騰対策事業費で、地域魅力発信事業補助金の詳しい内容を伺いたい。

井原まちづくり振興課長

ゴースト・オブ・ヨウテイの動きもあるし、また、地域の特産品を町外にPRする、羊蹄山の景観をPRするような媒体を、商工会と連携して模索して、その部分の作成費として商工会に負担金として補助してまいりたい。

月	日	行 事	出席者	場 所
7	2 1	竹駒稲荷例大祭	各議員	
	2 5	喜茂別町戦没者追悼式	全議員	
	2 9	第30回羊蹄山ろく連合消防演習	各議員	真狩村
	3 1	クレードル興農工場見学	各議員	
8	1	第29回札幌市南区・喜茂別町交通安全合同キャンペーン 一般社団法人きもべつ観光協会定時社員総会	各議員 議 長	中山峠
	4	羊蹄山麓町村議会正副議長会議員研修会	全議員	喜茂別町
	5	全道林活議連絡会令和7年度定期総会	議 長	札幌市
	9・10	第27回きもべつ夏まつり	各議員	
	1 2	経済常任委員会	全委員	
	1 9	議会広報研修会	各委員	札幌市
	2 0	総務常任委員会 経済常任委員会	全委員 全委員	
	2 6	羊蹄山ろく消防組合議会第3回臨時会	組合議員	倶知安町
	2 7	後志広域連合議会臨時会	組合議員	倶知安町
	6	第4回ベトナムフェスティバルin札幌	議 長	札幌市
	1 8	議会運営委員会 全員協議会 総務常任委員会	全委員 全議員 全委員	
9	2 4	第3回定例会	全議員	
	2 5	総務常任委員会 経済常任委員会 議会改革特別委員会	各委員 各委員 各委員	
	2 7	喜茂別町敬老会・敬老福祉まつり	各議員	
	3 0	倶知安厚生病院運営委員会	議 長	倶知安町
10	1	決算特別委員会	全委員	
	4	喜中祭	各議員	
	6	消防ポンプ車納車式	各議員	
	9	天塩町議会産業厚生常任委員会研修視察来町	副議長	
	1 1	喜茂別小学校学芸会	各議員	
	1 4	議会広報編集委員会	各委員	
	1 5	全員協議会	全議員	



編集後記

昨年の同じ時期に初めて編集後記を書いてから一年。議員としての活動にも少しずつ慣れ、町のことをこれまでより身近に感じるようになりました。最近では、羊蹄山を舞台にしたゲーム「ゴースト・オブ・ヨウテイ」が話題となり、観光の動きも活発になっています。関連したグッズも販売されているそうで、あらためてこの地域への関心の高まりを感じます。喜茂別の自然や風景が多くの人々の目に留まり、訪れるきっかけとなるのは嬉しいことです。季節は秋の終わり。羊蹄山の頂にも雪が積もり始めました。どうか皆さんも体調に気をつけて、無事に冬を越せますように。私もまた、地域の一員として一歩ずつ歩んでいきたいと思います。

議会広報編集委員 本久 哲士